

2019年度年間授業計画

教科科目		教科（ 家 庭 ） 科目（ 家庭総合 ）		単位数:【 1 単位】	
教科担当		(2100～2500組:蔵本・小宮)			
使用教科書:		家庭総合 自立・共生・創造 （東京書籍）			
副教材等:		生活ガイドブック データ&グラフ 2019(教育図書)			
期	月	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
一 学 期	4	第1章自分らしい人生をつくる 青年期, 家庭の機能, 男女で家庭を築く, 家族の問題点	自分自身について客観的に知り、生涯を見通して人の一生について考え、それぞれのライフステージごとの特徴・課題を理解し、男女共同参画社会でのワークライフバランスがとれた生き方を考える。さまざまな結婚、家族・家庭の意義や機能について理解する。家事労働・職業労働の意義、生活時間からみた現在の課題について理解する。家族に関する法律について理解し、現代の家族が抱える課題などを理解する。	ノートなどの提出物、定期考査の得点、知識の習得、授業への意欲・関心等を総合的に判断して評価する。	11
	5	第1章自分らしい人生をつくる 青年期, 家庭の機能, 男女で家庭を築く, 家族の問題点 第5章 経済生活 家計のマネジメント、契約、消費者問題、消費者信用	自分自身について客観的に知り、生涯を見通して人の一生について考え、それぞれのライフステージごとの特徴・課題を理解し、男女共同参画社会でのワークライフバランスがとれた生き方を考える。さまざまな結婚、家族・家庭の意義や機能について理解する。家事労働・職業労働の意義、生活時間からみた現在の課題について理解する。家計、税金、社会保障などの家計管理について具体的な事例を通してシュミレーションすることができるようになる。消費行動において、意思決定のプロセスを理解し、自身の消費行動として具体的に考えられるようになる。		
	6	第5章 経済生活 家計のマネジメント、契約、消費者問題、消費者信用	家計、税金、社会保障などの家計管理について具体的な事例を通してシュミレーションすることができるようになる。消費行動において、意思決定のプロセスを理解し、自身の消費行動として具体的に考えられるようになる。契約、多様な販売方法や支払方法、消費者問題などの消費者の権利と責任について理解し、自主的に行動することの必要性を理解する。 生涯を見通した生活設計の重要性について理解し、学習を活かした自分らしい生き方を設計する。		
	7	第5章 経済生活 家計のマネジメント、契約、消費者問題、消費者信用	家計、税金、社会保障などの家計管理について具体的な事例を通してシュミレーションすることができるようになる。消費行動において、意思決定のプロセスを理解し、自身の消費行動として具体的に考えられるようになる。契約、多様な販売方法や支払方法、消費者問題などの消費者の権利と責任について理解し、自主的に行動することの必要性を理解する。 生涯を見通した生活設計の重要性について理解し、学習を活かした自分らしい生き方を設計する。		
二 学 期	9	第6章 食生活をつくる 食生活の課題、食事と栄養素・食品 食の安全性	日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的根拠から理解する。青年期の食事の重要性を理解し、各ライフステージの栄養的特徴を知る。栄養・食品の知識をもとに、フードファディズムなどに惑わされることなく家族の食事計画を考える。	ノートなどの提出物、小テストや定期考査の得点、技術の習得、授業への意欲・関心等を総合的に判断して評価する。	14
	10	第6章 食生活をつくる 食生活の課題、食事と栄養素・食品 食の安全性	日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的根拠から理解する。青年期の食事の重要性を理解し、各ライフステージの栄養的特徴を知る。栄養・食品の知識をもとに、フードファディズムなどに惑わされることなく家族の食事計画を考える。		
	11	第8章 住生活 住まいの役割, 住空間, 安全・衛生, 文化・環境	住居の機能、ライフステージと住空間の計画、住環境の整備について科学的に理解する。ライフステージに合わせた安全で快適な住生活を送るための知識を身につけ、環境にも配慮した住生活を送るための知識を身につける。住居の平面図を読みとることができるようになる。賃貸住宅の契約知識、住居購入時の住宅ローンなど住生活から消費者問題を学習する。住生活における地域社会とのつながりの重要性を理解し、持続可能な住生活とは何かを考える。		
	12	第6章 食生活をつくる 食と暮らしのかかわり	行事食・郷土食・伝統的な加工食品・マナーなどの食生活の文化とその背景について知る。食品の自給率や食に関する環境について理解する。自分の食生活・現代食生活の課題から、食生活の多様化や食環境の変化を知り、食生活と環境について科学的に考える能力を身につける。		
三 学 期	1	第2章 保育 発育・発達, 親の役割, 子どもの生活・遊び, 健康・安全, 保育所	子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義をとらえ、子どもにとってよい環境について理解を深める。現在の子どもを取り巻く環境を知り、家庭保育と集団保育、子育てのための国や地域の社会的支援について理解する。	ノートなどの提出物、小テストや定期考査の得点、技術の習得、授業への意欲・関心等を総合的に判断して評価する。	10
	2	第4章 共に生き、共に支える 第9章 生活を設計する	一生を通した福祉や社会的支援の必要性を知る。 社会保障制度の理念と内容を理解する。多様な人々のニーズ、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインの理念を理解する。地域の防災力を高める意義と方法を考える。自身の生活を見つめ直し、持続可能な社会・循環型社会を目指して地球環境保全に貢献できるライフスタイルについて考え、実行できるようにする。生涯を見通した生活設計の重要性について理解し、学習を活かした自分らしい生き方を設計する。		
	3	第3章 高齢社会を生きる 高齢期の心身の特徴, 高齢期の健康, 高齢期の生活, 支えるしくみ, 介護	高齢者の生活に関心を持ち、未来の自分の生活としてとらえることができるようになる。高齢者の心身の特徴や生活について理解する。高齢社会の現状と課題について理解する。介護保険制度などの社会保障、地域住民間での助け合いの活動、共生社会などを理解し、ホームプロジェクトを実践する。介護を必要としている高齢者一人ひとりに応じた介護の必要性と介助の基礎的な知識・技術を身につける。		
					35